

第七十三回 帝國議會 临时租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄(速記)第二十一回

會議		片山 哲君	水谷長三郎君
昭和十三年三月十八日(金曜日)	午後六時十 分開議	三木 武夫君	馬場 元治君
出席委員左ノ如シ	出席委員左ノ如シ	三月十六日委員平野力三君辭任ニ付其ノ補闕 トシテ永山忠則君ヲ議長ニ於テ選定セリ	同月十八日東條貞君理事辭任ニ付其ノ補闕 トシテ小串清一君理事ニ當選セリ
委員長 高橋熊次郎君	理事岡本實太郎君	亮君	出席國務大臣左ノ如シ
理事西村金三郎君	理事小串 清一君	密君	大藏大臣 賀屋 興宣君
理事玉野 知義君	理事河野	大藏大臣 賀屋 興宣君	本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
前田房之助君	中島彌團次君	出席政府委員左ノ如シ	臨時租稅增徵法中改正法律案(政府提出)
渡邊玉三郎君	勝 正憲君	大藏政務次官 太田 正孝君	所得稅法中改正法律案(政府提出)
矢野庄太郎君	川崎末五郎君	大藏參與官 中村三之丞君	相續稅法中改正法律案(政府提出)
田村 秀吉君	佐藤洋之助君	大藏省主計局長 谷口 恒二君	登錄稅法中改正法律案(政府提出)
板谷 順助君	宮本雄一郎君	大藏省主稅局長 大矢半次郎君	酒造稅法中改正法律案(政府提出)
服部 岩吉君	稻田 直道君	大藏書記官 松隈 秀雄君	酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案
岡田 忠彦君	森田 福市君	大藏書記官 田中 豊君	(政府提出)
松村 光三君	永山 忠則君	貿易局長官 寺尾 進君	麥酒稅法中改正法律案(政府提出)
本邦内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ	臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)	臨時租稅措置法案(政府提出)	支那事變特別稅法案(政府提出)
サレタ部分ニ付テ御答辯ヲ願ヒマス	臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄(速記)	支那事變特別稅法案(政府提出)	支那事變特別稅法案(政府提出)
○高橋委員長 馬場君ニ對スル答辯ノ保留	○高橋委員長 御異議ナシト認メマス、ソ レデハ小串清一君ニ御願致シマス——此場 合補充質問ノ申出ガアリマス、順次之ヲ御 許シ致シマス	○高橋委員長 御異議ナシト認メマス、ソ レデハ小串清一君ニ御願致シマス——此場 合補充質問ノ申出ガアリマス、順次之ヲ御 許シ致シマス	付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 府提出 相續稅法中改正法律案(政府提出) 正九年法律第十二號中改正法律案(政府提出) 登錄稅法中改正法律案(政府提出) 酒造稅法中改正法律案(政府提出) 支那事變特別稅法案(政府提出) 臨時租稅措置法案(政府提出) 日滿國稅徵收事務共助法案(政府提出) 支那事變特別稅法案(政府提出) 支那事變特別稅法案(政府提出) 支那事變特別稅法案(政府提出) 支那事變特別稅法案(政府提出) 支那事變特別稅法案(政府提出)

○賀屋國務大臣 先般御話ノ國有ノ雜種財産ニ付キマシテハ、未ダ賣拂ヲ致シマセヌ部分ハ取敢ズ其措置ヲ止メサセヨウト思テ居リマス、賣拂ノ濟ミマシタ分ニ付キマシテハ、至急實情ノ調査ヲ致シマシテ、善處致シタイト思ヒマス

○馬場委員 今一つ輸入爲替ノ問題ガ残ッテ居ルノデスガ——ソレデハ後デ直接伺フコトニ致シマセウ

○勝委員 私ハ先日來御尋スルコトハ大抵盡シタノデアリマスガ、唯一點此際政府ニ確メテ置キタイコトガアルノデアリマス、ソレハ現行ノ臨時租稅增徵法ニ於キマシテ

ハ、第二十條ニ於キマシテ「北海道、府、縣、

市町村其ノ他ノ公共團體ハ本法ニ依リ増徵スル稅額ニ付附加稅ヲ課スルコトヲ得ズ」、斯ウ云フ明文ガアルノデアリマス、而シテ增徵法ノ第六條ヲ見マスレバ「所得稅中第三

種ノ所得ニ對スル所得稅ニ付テハ所得金額イテアリマス、所ガ今度ノ改正案ニ依リマスト、第六條ニ「所得稅中第三種ノ所得ニ對スル所得稅ニ付テハ所得稅法第十四條第一項第一號ノ二ノ所得ニ對スルモノヲ除クノ外同法第二十三條第一項ノ規定ニ拘ラズ所得金額ヲ左ノ各級ニ區分シ遞次ニ各稅率ヲ適

用シテ之ヲ賦課ス」ト書イテアリマス、ソレニアリマスルカラ、是ハ增徵額ト本稅額ト云フモノガ一緒ニナッテ居ル、ソレガ書キ分ケテナイ爲ニ、此第六條ヲ卒然トシテ讀メバ、之ニ依ツテ算出シタル稅額全部ニ對シテ、地方團體ハ附加稅ヲ課シ得ルガ如クニ見エル、併シ政府ハ此增徵ニ對シテ附加稅ヲ許スト云フ風ニ、方針ヲ御變ヘニナッタモノデハナイト思フノデアリマスガ、此條文ヲ讀ンダグケデハ如何ニモ疑義ヲ生ズルノデアリマス、之ニ對スル政府ノ解釋如何、竝ニ左様ニ解釋セラレル理由如何ト云フコトヲ御尋致シマス

○大矢政府委員 現行ノ臨時租稅增徵法ノ第一條ニ「當分ノ内本法ニ依リ所得稅、法人スル稅額ニ付附加稅ヲ課スルコトヲ得ズ」、斯ウ云フ第三種ノ所得稅ヲ計算スルコトニナッテノ營業収益稅、資本利子稅、相續稅、鑛產稅、酒稅、砂糖消費稅、取引所稅及臨時利得稅ヲ增徵シ」云々トアリマス、ソレカラ第二十條ニハ「北海道、府、縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ本法ニ依リ増徵スル稅額ニ付附加稅ヲ課スルコトヲ得ズ」トアリマスノデ、此方法ニ依ツテ增徵シタ分利益若ハ利息ノ配當又ハ剩餘金ノ分配ニ付キマシテハ、所得稅法ニ於テハ四割ヲ控除シテ、第三種ノ所得稅ヲ計算スルコトニナッテ居ルノヲ二割控除ニ改ヌテ計算スルト云フノガゴザイマス、ソレカラ第二十一條ニ於キマシテ、國債利子ニハ所得稅ハ從來免稅ニナッテ居タノヲ、廢止スルト云フモノナドガ其例デゴザイマシテ、是等何レノ方法ニ依リマス、增徵スルノニハ違ヒガナイノデゴザイ

○勝委員 重ねテ申上げマスガ、今政府委員ノ御答ニナッタコトヲ要約シテ申シマスレバ、所得稅法第二十三條ニ依ツテ算出シタル稅額ト、此改正法ノ第六條ニ依ツテ算出シタル稅額トノ差額ヲ增徵スルト云フ御趣旨デアル、而シテ其差額、所謂增徵セラレバ、所得稅法第二十條ノタル差額ニ對シテハ、增徵法ノ第二十條ノ規定ニ依ツテ、地方團體ハ附加稅ヲ課スルコトヲ得ズ、斯ウ考ヘテ宜シイノデアリマセウカ、是ハ如何ニモ文章ノ書キ方ガ不完全デ、誤解ヲ生ズルカラ御尋スルノデアリマス、第一條ニ於キマシテ先程讀上ゲマシタハ、基本稅法ニ依ル稅額ノ外ニ新シキ或ル各種ノ稅ニ付テ增徵スルト云フコトヲ謳シテ居ルノデゴザイマス、ソコデ比第六條ニ於キマシテ、現行法ハ前ニモ申シマス通り基本

○大矢政府委員　解釋ハ全ク左様デゴザイ  
マス、文章ガ不完全ダト云フ御話デゴザイ  
マスガ、此第二十條ニ於キマシテ、「北海道、  
府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ本法ニ依  
リ増徵スル稅額」ト致シマシテ、其下ニ括  
弧致シマシテ、「第七條及第二十二條ノ規  
定ニ依リ増額ト爲ル部分ヲ含マズ」トアル  
ノデアリマシテ、此條文ノ字句カラ致シマ  
シテモ、私ガ申上ゲテ居ル通リノ解釋ガ自  
ラ出テ來ルノデハナカラウカト存ズル次第  
デアリマス

○勝委員 第二十條ノ括弧ノ中ノ文章ノ反  
對解釋トシテ、サウ云フ解釋ガ出來ルト仰  
シヤルナラバソレデ結構デアリマス、唯文  
章ノ書キ方ガ惡イト云フコトヲ飽マデ御注  
意申上ゲテ置キマス、大藏大臣モ主稅局長  
ノ御答辯ヲ共通リ御承認ニナルモノト心得  
テ宜シウゴザイマスカ

○賀屋國務大臣　主稅局長ノ申上ゲマシタ  
通リデアリマス、其差額ニハ附加稅ヲ課ケ  
マセヌ

○森田委員　此際四點ダケ大藏大臣ニ御尋  
ヲ申上ゲタイ、從來ノ質問デ御答辯ガアッテ  
明瞭ニナツテ居ナイ點ヲ明ニシテ置キタイ  
ト思ヒマス、臨時利得稅ノ課稅ニ當リマシ  
テハ、個人ニ對シテハ資本ヲ認メテナイコ

トハ御承知ノ通リデアリマス、ソレガ不合理的ナルコトモ大體御肯定ニナッテ居ルヤウデアリマス、隨テ次ノ稅制調整ノ際ニハ、必ズ個人ニ對スル此點ヲ法人トノ比較均衡上公平ニ課稅スルヤウ、政府ハ之ヲ是正スルノ御考ガアリマスカ、如何デアリマセウ

モ、四分ノ一以上ノ減損ガアツタ場合ニハ  
ヤハリ之ヲ更訂スルト云フ點、此點ハ御承  
認ニナルダラウト思ヒマスガ、念ノ爲ニ拜  
承致シテ置キタイト思ヒマス  
○大矢政府委員 一寸私カラ申上ゲテ置キ  
タイト思ヒマス、只今森田サンカラ御話ノ  
アリマシタ點ハ、決定所得ニ對シマシテ、

シタ場合ニ適用ガアルノデゴザイマシテ、  
普通ノ場合ノ減損更訂トハ違フノデゴザイ  
マス

○大矢政府委員　解釋ハ全ク左様デゴザイ  
マス、文章ガ不完全ダト云フ御話デゴザイ  
マスガ、此第二十條ニ於キマシテ、「北海道、  
府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ハ本法ニ依  
リ増徴スル稅額」ト致シマシテ、其下ニ括  
弧致シマシテ、「第七條及第二十二條ノ規  
定ニ依リ増額ト爲ル部分ヲ含マズ」トアル  
ノデアリマシテ、此條文ノ字句カラ致シマ  
シテモ、私ガ申上ゲテ居ル通リノ解釋ガ自

トハ御承知ノ通りデアリマス、ソレガ不合法ナルコトモ大體御肯定ニナッテ居ルヤウデアリマス、隨テ次ノ稅制調整ノ際ニハ、必ズ個人ニ對スル此點ヲ法人トノ比較均衡上公平ニ課稅スルヤウ、政府ハ之ヲ是正スルノ御考ガアリマスカ、如何デアリマセウ

モ、四分ノ一以上ノ減損ガアツタ場合ニハ  
ヤハリ之ヲ更訂スルト云フ點、此點ハ御承  
認ニナルダラウト思ヒマスガ、念ノ爲ニ拜  
承致シテ置キタイト思ヒマス

○大矢政府委員 一寸私カラ申上ゲテ置キ  
タイト思ヒマス、只今森田サンカラ御話ノ  
アリマシタ點ハ、決定所得ニ對シマシテ、  
大體五割以上其實績ガ增加シタ場合ニ適用  
シタイト云フ心組デ居ルノデゴザイマス、  
ソレカラ減損更訂ハ、現行法ノ下ニ於テハ

シタ場合ニ適用ガアルノデゴザイマシテ、  
普通ノ場合ノ減損更訂トハ達フノデゴザイ  
マス

○森田委員 サウスルト少シ此間ノ答辯ト  
變ツテ來タノデスカ、此間ノ答辯テハ、四分  
ノ一以上ノ減損ガアルナラバ、ヤハリ個人  
カラ法人ニナツタ際デモ更訂ガ出來ルカノ  
如キ御答辯ガアツカ、今日ハソレヲ明  
瞭ニシテ置キタイ爲ニ伺フノデス、疑惑テ

○勝委員 第二十條ノ括弧ノ中ノ文章ノ反對解釋トシテ、サウ云フ解釋ガ出來ルト仰シヤルナラバソレデ結構デアリマス、唯文章ノ書キ方ガ惡イト云フコトヲ飽マデ御注意申上ゲテ置キマス、大藏大臣モ主税局長ノ御答辯ヲ共通リ御承認ニナルモノト心得テ宜シウゴザイマスカ

非常ニ困難ガアルノデアリマス、隨ヒマシテ必ズ個人ニ付テ資本ノ觀念ニ依ルト云フコトヲ、只今明言致シマス譯ニハ參リマセヌ、併ナガラ課稅ノ公平ヲ期スル上ニ付キマシテハ、之ニ關シ十分ニ研究ヲ致シテ、成ベク課稅ノ公平ヲ期スル方向ニ進ミタイ

其適用ヲ受ケル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス

條ニ於キマシテ「前條ノ場合ニ於テ營業ノ純益額ガ當初決定額ニ比シ四分ノ一以上ノ減損ト爲ルトキハ其ノ實際純益額ニ基キ計算シタル營業収益稅額ニ付前條ノ規定ニ依ル輕減又ハ變更ヲ爲ス」トアリマシテ、此場合ニハ森田サンノ仰シヤル通り、四分ノ一以上減損シタ場合ニ適用ガアルノデアリマ

○賀屋國務大臣 通リデアリマス、其差額ニハ附加稅ヲ課ケ  
主稅局長ノ申上ダマシタ  
マセヌ

○森田委員 其次ハ例ノ個人カラ法人ニ組  
織ヲ變更シタ際ニ、其法人ノ所得ガ、調査  
ノ結果個人トシテノ決定金額ヨリ多カツタ

人カラ法人ニ組織ト變更シタモノデモ之ヲ  
適用セラレテ宜シイト思フガドウカト云フ  
ノデアリマス、前者ノ方ハ宜シウゴザイマ

○森田委員 今ノ點ハ分リマシタ、此間ノ  
答辯デハ、今ノ個人カラ法人ニナツタ時ニ、  
ス

○森田委員 此際四點ダケ大藏大臣ニ御尋  
ヲ申上ゲタイ、從來ノ質問デ御答辯ガアッテ  
明瞭ニナッテ居ナイ點ヲ明ニシテ置キタイ  
ト思ヒマス、臨時利得稅ノ課稅ニ當リマシ  
テハ、個人ニ對シテハ資本ヲ認ヌテナイコ

場合、遡及シテ課税スルヤウニ今度ノ法律  
デナツテ居ルノデアリマス、此點ハ決定金額  
ヨリ四分ノ一以上ノ增收ガナイ場合ニハ課  
稅シナイト云フ點ト、今一點ハ其反對ニ減  
損ガアツタ場合、二分ノ一分損失ガナクテ

スガ、後者の方ヲ今一度ハツキリ御説明ヲ願  
ヒタイ

四分ノ一以上殖エレバ取ルト言ハレタ、今度ハ決定金額ノ五割ヲ超過シタナラバ取ルト言ハレルノデアリマスカラ、然ラバ減損ノ方ト均衡ガ取レルカラ宜イデス、此間ノ答辯ガ今日ノト違ッテ居ツタカラ、ソレデ聞

イタノデス

○大矢政府委員 森田サンガ此間ノ答辯ト申上ゲテ居リマス、其點ハ明ニ申上ゲテ置キマス、速記録ニアル筈デゴザイマス

今ノ答辯ガ違ツタト仰セラレマスルケレドモ、私ハ前二回ニ互リマシテ同一ノコトヲ申上ゲテ居リマス、其點ハ明ニ申上ゲテ置キマス、速記録ニアル筈デゴザイマス

○森田委員 前二回ト云フノハ何時デスカ、此間ノ質問ノ時ニハ、四分ノ一ト云フコトヲ明ニ、アナタカ國稅課長ガ仰シヤッテ居ル

○大矢政府委員 私ハ確ニ、所得金額ノ決定額ニ對シテ實際ノ所得額ガ五割以上増加シタ場合ニ適用シタイト云フ心組デ居ルト云フコト申上ゲテ居ル筈デアリマス

○大矢政府委員 私ハ確ニ、所得金額ノ決定額ニ對シテ實際ノ所得額ガ五割以上増加シタ場合ニ適用シタイト云フ心組デ居ルト云フコト申上ゲテ居ル筈デアリマス

○森田委員 ソレナラ宜イデス、速記録ヲ調べル必要モナイ、兎モ角モサウ言ハレタカラ、今問題ニナッテ居ルノデス、併シ今ノ御答辯デソレガ五割ニナッタナラ、一方モ五割減損シタ場合ト同一ニナルカラ宜イ、ソコサヘ明瞭ニナレバ宜イノデス

○森田委員 前二回ト云フノハ何時デスカ、此間ノ質問ノ時ニハ、四分ノ一ト云フコトヲ明ニ、アナタカ國稅課長ガ仰シヤッテ居ルト云フコト申上ゲテ居ル筈デアリマス

○大矢政府委員 私ハ確ニ、所得金額ノ決定額ニ對シテ實際ノ所得額ガ五割以上増加シタ場合ニ適用シタイト云フ心組デ居ルト云フコト申上ゲテ居ル筈デアリマス

○森田委員 ソレナラ宜イデス、速記録ヲ調べル必要モナイ、兎モ角モサウ言ハレタカラ、今問題ニナッテ居ルノデス、併シ今ノ御答辯デソレガ五割ニナッタナラ、一方モ五割減損シタ場合ト同一ニナルカラ宜イ、ソコサヘ明瞭ニナレバ宜イノデス

○森田委員 前二回ト云フノハ何時デスカ、此間ノ質問ノ時ニハ、四分ノ一ト云フコトヲ明ニ、アナタカ國稅課長ガ仰シヤッテ居ルト云フコト申上ゲテ居ル筈デアリマス

○大矢政府委員 私ハ確ニ、所得金額ノ決定額ニ對シテ實際ノ所得額ガ五割以上増加シタ場合ニ適用シタイト云フ心組デ居ルト云フコト申上ゲテ居ル筈デアリマス

○森田委員 前二回ト云フノハ何時デスカ、此間ノ質問ノ時ニハ、四分ノ一ト云フコトヲ明ニ、アナタカ國稅課長ガ仰シヤッテ居ルト云フコト申上ゲテ居ル筈デアリマス

○大矢政府委員 私ハ確ニ、所得金額ノ決定額ニ對シテ實際ノ所得額ガ五割以上増加シタ場合ニ適用シタイト云フ心組デ居ルト云フコト申上ゲテ居ル筈デアリマス

○森田委員 前二回ト云フノハ何時デスカ、此間ノ質問ノ時ニハ、四分ノ一ト云フコトヲ明ニ、アナタカ國稅課長ガ仰シヤッテ居ルト云フコト申上ゲテ居ル筈デアリマス

○大矢政府委員 私ハ確ニ、所得金額ノ決定額ニ對シテ實際ノ所得額ガ五割以上増加シタ場合ニ適用シタイト云フ心組デ居ルト云フコト申上ゲテ居ル筈デアリマス

○森田委員 前二回ト云フノハ何時デスカ、此間ノ質問ノ時ニハ、四分ノ一ト云フコトヲ明ニ、アナタカ國稅課長ガ仰シヤッテ居ルト云フコト申上ゲテ居ル筈デアリマス

○大矢政府委員 私ハ確ニ、所得金額ノ決定額ニ對シテ實際ノ所得額ガ五割以上増加シタ場合ニ適用シタイト云フ心組デ居ルト云フコト申上ゲテ居ル筈デアリマス

スカ、如何デアリマスカ、是ハ大藏大臣カ

ラ承ツテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 一應主稅局長カラ申上ゲマシテ、後ニ明確ニ政府ノ意思ヲ申上ゲタ

此間申上ゲマシタノハ、此處ニ御イト思ヒマス

○大矢政府委員 此間申上ゲマシタノハ、同族會社ノ中、保全會社ニ對シテハ原則ト

シテ加算規定ヲ適用スル、保全會社以外ノ事業會社ニ對シマシテハ、他ノ普通ノ事業

會社ガ配當ヲ致シテ居ル程度ノ配當ヲシテ居レバ之ヲ適用シナイト云フコトニ大體ノ原則ヲ置イテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノ

デアリマス

○森田委員 大體ノ原則ハ分リマシタ、實

ハ此間カラソレヲハッキリ明瞭ニサセナサ

ルノデアリマスカラ、政府ハ此點ヲ十分考

慮シテ、適當ニ減價銷却ノ期間ヲ短縮セラ

ル、コトニ付テ御異存ハアリマセヌカ、此

點ニ對スル御答ヲ願ヒタイ

○賀屋國務大臣 減價銷却ニ付キマシテハ、

ソレデ茲ニ十分政府ノ言質ヲ取ッテ置カナ

イト危イカラ言ヒ居ル譯デス(笑聲)他ノ事

業會社ト同一ノ配當ヲスルナラバト仰シヤ

ル、ココデ御考慮ヲ願ヒタイ、ソレハ利益

リマシテハ相當考慮ヲ致シタイト思テ居

過半數ノ株式ヲ同一同族ガ所有シテ居リマ

シテモ、是ガ純然タル事業會社デアル以

キヲ願ヒタイ

ソレカラ最後ノ質問ハ、此間資料トシテ

委員會ニモ御提出ニナリマシタ減價銷却ノ點デアリマス、減價銷却ノ點ハ、此處ニ御

出シニナッタ資料ト實際行ハレテ居ルモノ

トハ、實際行ハレテ居ルモノノ方ガアレヨ

リ短縮ニナッテ居リマス、併ナガラ今ノ御

示シニナッタ資料ヤ、從來オヤリニナッテ居

ル程度ノ減價銷却デハ、到底今日ノ物價高

ニ依ル建設其他時勢ニ副ウテ居ラスト考ヘ

ルノデアリマスカラ、政府ハ此點ヲ十分考

慮シテ、適當ニ減價銷却ノ期間ヲ短縮セラ

ル、コトニ付テ御異存ハアリマセヌカ、此

點ニ對スル御答ヲ願ヒタイ

○河野委員 例ヘバ景品ヲ附ケルトカ、或

ハ販賣ヲスル爲ニ種々ナル獎勵金ヲ出スト

カ、サウ云フモノガ含マレテ居ル場合ニハ、ソ

ハ販賣ヲスル爲ニ種々ナル獎勵金ヲ出スト

カ、サウ云フモノガ含マレテ居ル場合ニハ、ソ

ハ販賣ヲスル爲ニ種々ナル獎勵金ヲ出スト

カ、サウ云フモノガ含マレテ居ル場合ニハ、ソ

ハ販賣ヲスル爲ニ種々ナル獎勵金ヲ出スト

カ、サウ云フモノガ含マレテ居ル場合ニハ、ソ

○河野委員 簡單ニ大藏事務當局ニ御尋致シマス、物品稅ノ點ニ付テ、第二種物品稅ノ課稅額ノ算定ニ付キマシテハ、引取ノ總量ニ課稅サレル譯デアリマスガ、例ヘバ廣告ノ爲メトカ、或ハ景品ヲ出ストカ、取引上ノ色々ナ事情ガアルト思ヒマスルガ、此

物品稅ノ課稅價格ノ算定ハドウ云フ標準デオヤリニナルノカ、其點ヲ御答願ヒタイト思ヒマス

○大矢政府委員 原則ハ製造場カラ出マスル時ノ正常價格ニ依ルノデゴザイマス

○河野委員 例ヘバ景品ヲ附ケルトカ、或

ハ販賣ヲスル爲ニ種々ナル獎勵金ヲ出スト

カ、サウ云フモノガ含マレテ居ル場合ニハ、ソ

ハ販賣ヲスル爲ニ種々ナル獎勵金ヲ出スト

タ

正

常

價

格

カ

ラ

之

差

引

イ

テ

計

算

ス

ル

ト

云

フ

ト

申

上

ゲ

テ

居

リ

マ

ス

カ

ラ

ト

云

フ

ト

申

上

ゲ

テ

居

リ

マ

ス

カ

ラ

ト

云

フ

ト

申

上

ゲ

テ

居

リ

マ

ス

カ

ラ

ト

云

フ

ト

申

上

ゲ

テ

居

リ

マ

ス

カ

ラ

ト

云

フ

ト

申

上

ゲ

テ

居

リ

マ

ス

カ

ラ

ト

云

フ

ト

申

上

ゲ

テ

居

リ

マ

ス

カ

ラ

ト

云

フ

ト

申

上

ゲ

テ

居

リ

マ

ス

カ

ラ

ト

云

フ

ト

申

上

ゲ

テ

居

リ

マ

ス

カ

ラ

ト

云

フ

ト

申

上

ゲ

テ

居

リ

マ

ス

カ

ラ

ト

云

フ

ト

申

上

ゲ

テ

居

リ

マ

ス

カ

ラ

ト

云

フ

ト

申

上

ゲ

テ

居

リ

フ譯ニハ參ラナイカト思ヒマス、歩引ノ如キモノニ對シマシテモ、或ル特別ノ人ニ對シテヤルト云フヤウナモノハヤハリ考慮ニ入レル譯ニハ行クマイカト思ヒマス、唯一般的ニ或ル決ツタ割合デ步引シテ居ルト云フヤウナ場合ニハ、是ハ考慮セラル、ノガ適當デナカラウカト思ヒマス、各種商品ニ付キマシテ色々事情ガゴザイマスカラ、其點ハ實行ニ當リマシテ十分ニ留意致シマシテ、實情ニ即スルヤウニ致シタイト存ジテ居リマス。

○河野委員 今度ハ物品稅ノ各種ノモノデアリマスガ、第一種ノ乙類ノ中ニ化粧品ト云ノガゴザイマス、此化粧品ト賣藥部外品トノ間界ニ付テハ、ドウ云フ風ニ御考ニナシテ居リマセウカ、御示ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○大矢政府委員 賣藥部外品トシテ發賣免許ヲ受ケテ居ルモノノ中ニハ、其主ナル用途ガ化粧用ニアルト認メラレルモノガ相當ゴザイマス、ソレデ通常ノ觀念ニ於テ化粧用ト供セラル、ト認メラル、モノニ付キマシテハ、化粧品トシテ課稅スル見込デゴザイマス、尙ホ化粧品ト認ムベキ範圍ニ關シマシテハ、命令ニ於テ更ニ品名ヲ特記シテ、明ニ致ス積リデゴザイマスルガ、具體的ノ

フ譯ニハ參ラナイカト思ヒマス、歩引ノ如キモノニ對シマシテモ、或ル特別ノ人ニ對シテヤルト云フヤウナモノハヤハリ考慮ニ入レル譯ニハ行クマイカト思ヒマス、唯一般的ニ或ル決ツタ割合デ步引シテ居ルト云フヤウナ場合ニハ、是ハ考慮セラル、ノガ適當デナカラウカト思ヒマス、各種商品ニ付キマシテ色々事情ガゴザイマスカラ、其點ハ實行ニ當リマシテ十分ニ留意致シマシテ、實情ニ即スルヤウニ致シタイト存ジテ居リマス。

○河野委員 最後ニ私ハ大藏大臣ニ一點御伺シタインデアリマス、是ハ或ハ今申述ブルコトハドウカト思ヒマスガ、相當原案ガ修正ニナシテ、增稅ノ收入額ガ減リマスニ付テ、是ハ大體大藏省ノ御意向トシテハ、自然增收ニ依ッテ御賄ヒニナルヤウニ新聞ニ傳ヘラレテ居リマスガ、自然增收デ御賄ヒニナル御考デアルカ、ソレトモウツ、易現今自然增收ト云フ點ガ非常ニ誤解サレ易イノデアリマスガ、自然增收モ亦増稅デアルト私達ハ考ヘテ居リマス、現ニ營業收益稅或ハ所得稅ノ課稅ノ算定ニ當リマシテ、

問題ニ歸スルノデアリマシテ、各、其物品ニ付テ實際販賣セラル、狀況ヲ見テ、判定シナケレバナラヌ場合ガ起ツテ來ルカト存ジテ居リマス、例ヘバ養毛料、洗毛料、藥用化粧水、頭髮用香水ト云フヤウナモノハ、賣藥部外品トシテ發賣免許ヲ受ケタモノデモ課稅スル積リデゴザイマス。

○賀屋國務大臣 本案ニ修正ガアリマスカ否カハ、今後ノ御討論ニ依ッテ拜承シ、其後ルコトハドウカト思ヒマスガ、相當原案ガニ決ルト思ヒマスガ、唯抽象的ニ御答申上カ、自然增收デ賄フ、斯ウ云フ考ハアリマセヌカ、自然增收ハ今後自然ニ出ルモノデアリマスレバ、歲入ノ缺陷ガアリマシタ時ニ自然增收デ賄フ、斯ウ云フ考ハアリマセヌカ、自然增收ト云フ點ガ非常ニ誤解サレ易イノデアリマスガ、自然增收モ亦増稅デアリマス、歲入ヲ見積リマシタ爲ニ生ズルノ物件ガ自然ニ多クナリマシタ爲ニ生ズルノモノデハアリマセヌ、ソレヲ以テ殊更ニ增收ヲ圖ルデアリマス、ソレヲ以テ自然增收デ賄フ、斯ウ云フ考ハアリマ

「私ヨリ御答申上ダタイト思ヒマスガ、日本ノ弱イ部分ニ於テハ自然增收ノ名ニ依ッテ「ステープル・ヤーン」輸入統制協會ト云フモノヲ排ヘテ、其輸入ノ許可ト云フモノハ一ノケレバナラヌ場合ガ起ツテ來ルカト存ジテ居リマス、例ヘバ養毛料、洗毛料、藥用化粧水、頭髮用香水ト云フヤウナモノハ、賣藥部外品トシテ發賣免許ヲ受ケタモノデモ課稅スル積リデゴザイマス。

○賀屋國務大臣 本案ニ修正ガアリマスカ否カハ、今後ノ御討論ニ依ッテ拜承シ、其後ルコトハドウカト思ヒマスガ、相當原案ガニ決ルト思ヒマスガ、唯抽象的ニ御答申上カ、自然增收デ賄フ、斯ウ云フ考ハアリマセヌカ、自然增收ハ今後自然ニ出ルモノデアリマスレバ、歲入ノ缺陷ガアリマシタ時ニ自然增收デ賄フ、斯ウ云フ考ハアリマセヌカ、自然增收ト云フ點ガ非常ニ誤解サレ易イノデアリマスガ、自然增收モ亦増稅デアリマス、歲入ヲ見積リマシタ爲ニ生ズルノ物件ガ自然ニ多クナリマシタ爲ニ生ズルノモノデハアリマセヌ、ソレヲ以テ殊更ニ增收ヲ圖ルデアリマス、ソレヲ以テ自然增收デ賄フ、斯ウ云フ考ハアリマセヌ、隨テサウ云フ意味ニ於テ自然增收デ賄フ、斯ウ云フ考ハアリマセヌ、

○高橋委員長 馬場元治君ノ保留サレタ質疑ニ對シマシテハ、大藏當局ヨリモ貿易局長官ノ御答辯ガ適當デアルダラウト云フコルト云フ風ニ見エテ居ナガラ、實質ニ於テトデ、局長官ガ見エテ居ラレマス、此場合

昨年或ハ一昨年カラ比較シテ、同ジモノニ對シテ非常ニ高イ算定ヲシテ居ルヤウニ見受ケラレルノデアリマス、一方ニ於テ減稅スシテハ、化粧品トシテ課稅スル見込デゴザイマス、尙ホ化粧品ト認ムベキ範圍ニ關シマシテハ、命令ニ於テ更ニ品名ヲ特記シテ、明ニ致ス積リデゴザイマスルガ、具體的ノ

「私ヨリ御答申上ダタイト思ヒマスガ、日本ノ弱イ部分ニ於テハ自然增收ノ名ニ依ッテ「ステープル・ヤーン」輸入統制協會ト云フモノヲ排ヘテ、其輸入ノ許可ト云フモノハ一ノケレバナラヌ場合ガ起ツテ來ルカト存ジテ居リマス、例ヘバ養毛料、洗毛料、藥用化粧水、頭髮用香水ト云フヤウナモノハ、賣藥部外品トシテ發賣免許ヲ受ケタモノデモ課稅スル積リデゴザイマス。

○寺尾政府委員 馬場委員ヨリノ御質問ニ



中五千圓迄ノ金額ニ付テハ」ニ改ム

第二十三條ノ三第一項中「保険金ノ合計額カ五千圓以上ノ場合」ヲ「保険金ノ合計額カ五千圓ヲ超ユル場合ニ於ケル其ノ超過額ニ相當スル金額」ニ改ム

第二十三條ノ四第一項中「年金ノ價額ノ合計額ガ五千圓以上ノ場合」ヲ「年金ノ價額ノ合計額ガ五千圓ヲ超ユル場合ニ於ケル其ノ超過額ニ相當スル金額」ニ改ム

是等モ總テ控除主義ヲ採タノデアリマス、尙ホス、先程申上ゲタ如ク、控除主義ハ公平ナル主義デアルト信ズルカラデアリマス、尙ホスノ如ク致スコトガ、最モ負擔ノ均衡ヲ得セシムル所以デアルト考ヘタカラデアリマス

以上ノ修正ヲ爲シ、此修正以外ハ原案ヲ承認スルノデアリマス  
尙ホ各派全部ノ共同提案トシテ、此支那事變特別稅法案ニ對シテ附帶決議ヲ致シタ  
イト思フノデアリマス

附帶決議  
一 時局重大國民ノ負擔益、多キヲ加フノ際其ノ均衡ヲ圖ルハ現下ノ急務ナリ政府ハ中央地方ヲ通スル稅制ノ根本的整理案ヲ作成シ速ニ之ヲ議會ニ提出スヘシ

是ハ申上ゲタ通り説明モ要セナイト思ヒ

マス、院議デアリマス、而シテ政府モ亦議

會ニ約束サレテ居ルノデアリマス、中央地方法ヲ通ズル所ノ稅制ノ根本的整理ハ、時局

ノ如何ニ關ハルモノデハアリマセヌ、恒久

過額ニ相當スル金額」ニ改ム

額カ五千圓ヲ超ユル場合ニ於ケル其ノ超

過額ニ相當スル金額」ニ改ム

額ノ合計額ガ五千圓以上ノ場合」ヲ「年金ノ價

額ノ合計額ガ五千圓ヲ超ユル場合ニ於ケル其ノ超過額ニ相當スル金額」ニ改ム

是等モ總テ控除主義ヲ採タノデアリマス、尙ホス、先程申上ゲタ如ク、控除主義ハ公平ナル主義デアルト信ズルカラデアリマス、尙ホスノ如ク致スコトガ、最モ負擔ノ均衡ヲ得セシムル所以デアルト考ヘタカラデアリマス

以上ノ修正ヲ爲シ、此修正以外ハ原案ヲ承認スルノデアリマス

附帶決議  
二 政府ハ本案ノ施行ニ伴ヒ不當ナル物價騰貴ヲ來ササルヤウ適當ナル對策ヲ講スベシ

ドウモ増稅ナドヲサレル時ニハ、常ニ增稅額以上ノ不當ナル物價騰貴ヲ伴フノデアリ

マス、斯ノ如キハ餘程政府ニ於カレテハ注意ヲ爲シ、不當ナル物價騰貴ノ伴ハザルヤウ適當ナル處置ヲ執ツテ戴クコト、斯ウ云フノデアリマス

ドウモ増稅ナドヲサレル時ニハ、常ニ增稅額以上ノ不當ナル物價騰貴ヲ伴フノデアリ

マス、斯ノ如キハ餘程政府ニ於カレテハ注

意ヲ爲シ、不當ナル物價騰貴ノ伴ハザルヤウ適當ナル處置ヲ執ツテ戴クコト、斯ウ云フノデアリマス

ドウモ増稅ナドヲサレル時ニハ、常ニ增稅額以上ノ不當ナル物價騰貴ヲ伴フノデアリ

マス、斯ノ如キハ餘程政府ニ於カレテハ注

意ヲ爲シ、不當ナル物價騰貴ノ伴ハザルヤウ適當ナル處置ヲ執ツテ戴クコト、斯ウ云フノデアリマス

ドウモ増稅ナドヲサレル時ニハ、常ニ増稅額以上ノ不當ナル物價騰貴ヲ伴フノデアリ

マス、斯ノ如キハ餘程政府ニ於カレテハ注意ヲ爲シ、不當ナル物價騰貴ノ伴ハザルヤウ適當ナル處置ヲ執ツテ戴クコト、斯ウ云フノデアリマス

時ニ於テハ、之ニ依ツテ生産力ガ徵發セラレ

ルコトハ當然デアリマス、此際ニ於テ生產方ヲ通ズル所ノ稅制ノ根本的整理ハ、時局

迄モナイコト存ズルノデアリマス、又我

力ノ擴充ニ付テ留意ヲ願フコトハ是亦申ス

國ノ如ク領土狹小、資源窮乏、人口過剩

而シテ事變ニ付テ變化ヲ生ズル時ニハ、ソレハ臨時措置ニ依ツテ如何トモ是正スルコトガ出來ルノデアリマス、根本ノ基礎ハ速ニ議會ニ於テ約束サレタ如ク、又院議ヲ尊重シテ、整理案ヲ議會ニ提出セラレンコト

興ト云フコト、或ヘ生産力擴充ト云フコトニ對シテ、本案施行ノ爲ニ此二者ガ妨ダラリマス、隨テ此際ニ於テ十分ニ此貿易振

レルヤウナコトノナイヤウニ十分御注意ヲ

頗ヒタイノデアリマス、別ケテ國際收支ノ

適合ト云フコトヲ國策トセラレテ居ル際ニ、

ソレニ捉ハレ過ギテ、貿易振興ガヨク阻碍

セラレルノデアリマス、此點ニ付テハ十二分

ノ注意ヲ願ヒタイト云フ意味デアリマス

附帶決議ハ右三案デアリマス、右ノ外本

委員會ノ質問ニ於キマシテ、吾々委員會ノ

意向ガ何處ニアルカト云フコトハ、親シク

當局ニ於テ御認メノコトト信ズルノデアリ

マス、其點ニ付テハ、委員會ニ於テ現レタ

ル趣旨ヲ能ク諒トセラレ、爲政ノ上ニ於テ

是ガ表現セラレルヤウ御願スル次第デアリ

マス、重ネテ申シマス、先程申シマシタル

此附帶決議ハ支那事變特別稅法案ニ對シテ附帶シタルモノデアリマス、以上ヲ以テ私

ノ意見ト致シマス

○高橋委員長 岩瀬亮君

マス、院議デアリマス、而シテ政府モ亦議

會ニ約束サレテ居ルノデアリマス、中央地

方ヲ通ズル所ノ稅制ノ根本的整理ハ、時局

ノ如何ニ關ハルモノデハアリマセヌ、恒久

過額ニ相當スル金額」ニ改ム

額カ五千圓ヲ超ユル場合」ヲ「保険金ノ合計

額カ五千圓以上ノ場合」ヲ「保険金ノ合計

額カ五千圓ヲ超ユル場合」ヲ「保険金ノ合計

額カ五千圓以上ノ場合」ヲ「保険金ノ合計

額カ五千圓ヲ超ユル場合」ヲ「保険金ノ合計

額カ五千圓以上ノ場合」ヲ「保険金ノ合計

額カ五千圓ヲ超ユル場合」ヲ「保険金ノ合計

額カ五千圓以上ノ場合」ヲ「保険金ノ合計

額カ五千圓ヲ超ユル場合」ヲ「保険金ノ合計

額カ五千圓以上ノ場合」ヲ「保険金ノ合計

額カ五千圓ヲ超ユル場合」ヲ「保険金ノ合計

額カ五千圓以上ノ場合」ヲ「保険金ノ合計

額カ五千圓以上ノ場合」ヲ「保険金ノ合計

黨年來ノ產業立國ノ政策ノ片鱗ヲ現ハシタ

モノデアリマス、即チ所得稅第一種及ビ第

三種ヲ輕減シテ、第二種トノ負擔ノ均衡ヲ

多少トモ是正シ、以テ產業ノ進展、生產擴

充ニ支障ヲ來サヌヤウ致シタモノデアリマ

ス、次ニ國民大衆ニ最モ關係ノ多イ砂糖消

費稅、入場稅ニ於テ大衆ノ負擔ノ輕減ヲ圖

リ、更ニ物品稅ニ於テ「ストック」品、酒燐寸

等ニ控除主義ヲ執リマシテ、專ラ中小商工

業者ノ負擔輕減ヲ爲シ、葡萄酒稅ニ付キマ

シテハ農村副業ノ助成竝ニ事業ノ發展ノ爲

ニ輕減ヲ致シタノデアリマス、尙ホ相續稅

ニ付テハ西村君御説明ノ通りデアリマス

之ヲ要スルニ前後數回ニ互リ頻々タル増

稅ハ、徒ニ租稅體系ヲ紊シ、負擔ノ不均衡

ヲ助長シ、且ツ納稅者ハ全ク其內容ヲ審ニ

スルコトガ出來ナイ狀態デアリマス、隨テ

附帶決議ニ付テモ申シテアリマス如ク、中

央地方ヲ通ズル稅制ノ根本整理ヲ速ニ斷行

シ、以テ國民負擔ノ平衡ヲ期圖シナケレバ  
ナラナインデアリマス、生産力ノ擴充、貿易ノ振興ハ、現時國策ノ根幹デアリマス、  
政府ハ本案施行ノ爲ニ是ガ阻碍ヲ爲サザル  
ヤウ、又物價騰貴ヲ來スコトナキヤウ、十分ノ御留意ヲ爲サナケレバナリマセヌ、私

ハ以上ノ理由ニ依リマシテ本案ニ對スル修  
正案ニ附帶決議全部ニ贊成ヲ致スモノデア  
リマス、尙ホ只今ノ修正案ヲ除キ、其他全  
部ハ原案ノ通リ贊成スルモノデアリマス

正竝ニ附帶決議全部ニ贊成ヲ致スモノデア  
リマス、尙ホ只今ノ修正案ヲ除キ、其他全  
部ハ原案ノ通リ贊成スルモノデアリマス

○高橋委員長 玉野知義君

○玉野委員 私ハ第一議員俱樂部ヲ代表致

シマシテ一言申上ゲマス、重大ナル時局下

ニ於ケル增稅デアリマスルカラ、相當ナル

意見モ持ッテ居リマシタガ、此場合何事モ申

上ゲマセヌ、先刻ノ西村君ノ修正案ニ同意

シ、附帶決議ヲ以チマシテ原案ニ贊成スル

者デアリマス

○高橋委員長 水谷長三郎君

○水谷委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマ

シテ、一言簡單ニ申上ゲテ置キタイト思フ

ノデゴザイマス、此度ノ增稅案ニ對シマシ

テハ、我が黨ト致シマシテモ色々ナ意見ガ

アッタノデゴザイマスガ、時局重大ナル此

際、小異ヲ捨テ大同ニ就クノ立場ヲ以チ

マシテ、先ニ申サレマシタ政友竝ニ民政ノ

共同修正案ノ中、所得稅ニ關スル部分ヲ除

キマシテハ全部之ニ贊成スル者デゴザイマ

ス、即チ此際我ガ黨ト致シマシテハ、第三

種所稅ノ免稅點ノ引下ニ反對スルト共ニ、

更ニ又普通法人、同族會社竝ニ個人ノ所得

稅ニ對スル最高打切ニモ吾々ハ反對スル者

デゴザイマス、即チ支那事變特別稅法案中

スルモノデアリ、又附帶決議ニ對シテハ満

意ノ振興ハ、現時國策ノ根幹デアリマス、  
政府ハ本案施行ノ爲ニ是ガ阻碍ヲ爲サザル  
ヤウ、又物價騰貴ヲ來スコトナキヤウ、十

分ノ御留意ヲ爲サナケレバナリマセヌ、私

ニ於テ

一、第二條第三項削除

一、第三條第二項削除

一、第五條第二項削除

一、第六條削除

腔ノ贊意ヲ表スル者デアリマス

○高橋委員長 討論ハ終リマシタ、先程西

村君竝ニ水谷君ヨリ修正意見ヲ申述ラレマ

シタソレ等ノ諸案ニ付テハ、目下印刷ヲ

致シテ居リマスルガ、マダ間ニ合ヒマセ

ス、先程御述ニナック御趣旨ハ十分御理解ト

思ヒマスカラ此儘採擇ヲ致シタイト思ヒマ

ス——採擇ニ先ダチマシテ其順序ヲ申上ゲ

テ置キマス、支那事變特別稅法案竝ニ相續

稅法中改正法律案、此二案ニハ修正案ガ提

出サレテ居リマス、社大案ハ政民案ト共通

點ガアリマス、第一ニ先ダチ支那事變特別稅

法案ノ社大修正案ノ共通ナラザル部分ヨリ

採擇ヲ致シマシテ、次ニ政民兩黨ノ提案ノ

修正案ヲ採擇致シマス、次ニ修正案ノ残リ

ノ原案、次ニ附帶決議ノ採決ヲ致シマス、

次ニ相續稅法中改正法律案ノ修正案ノ採

決、修正案ノ殘リマシタ十一案件ヲ一括シテ採決

最後ニ残リマシタ十一案件ヲ一括シテ採決

致シマス

先ダチ支那事變特別稅法案ヲ議題ト致シマ

シテ、社大ノ水谷長三郎君ノ、政民兩黨修

正案ト共通ナラザル修正案ニ贊成ノ方ノ起

立ヲ求メマス

〔贊成者起立〕

○高橋委員長 少數ト認メマス——政民共



昭和十三年三月十八日印刷

昭和十三年三月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局